

# ICT を活用した授業は、子どもたちにどのような効果をもたらすか

阿部 春菜 (生涯スポーツ学科 学校スポーツコース)

指導教員 柴田俊和

キーワード：ICT 機器，情報教育，情報活用能力

## 1. 緒言

近年，パソコンや携帯電話，デジタルカメラなどの ICT 機器が広く個人にも普及し，現在の子どもたちにとってそれらを利用することは特別なことではなくなっている。

そこで，情報活用能力の育成を通じて，子どもたちが生涯を通して社会の様々な変化に対応できるための基礎・基本の習得を目指して「情報教育」の目標が立てられた。また，新学習指導要領では，教育の情報化について，情報教育及び教科指導における ICT 活用の両面で様々な充実が図られた。

本研究では，小学校における ICT 機器の活用状況と活用方法を明らかにする。

また，実際に ICT 機器を活用した授業に対して，子どもたちや教師がどのように感じているのかを明らかにする。そこから ICT 機器を活用した授業の効果を考察するとともに，学習活動の中で ICT 機器を活用する上での問題点についても明らかにすることを目的とする。

## 2. 研究方法

①授業参観による調査：実際に ICT 機器を活用して行う授業を参観し，活用状況と活用方法，授業中の児童の様子を調査した。

②アンケート調査：ICT 機器が授業の中で活用されていることに対して，どのように感じているのか意識調査を行なった。

## 3. 結果と考察

### 1) 児童へのアンケート調査について

ICT 機器を活用した授業では，

- ・進んで学習することが出来ている。
- ・楽しんで参加することが出来ている。

・ ICT 機器があることでわかりやすい。

・満足している。

・他の教科でも使ってほしいと感じている。

### 2) 教職員に対する調査について

①ICT 機器を活用することで便利だと思こと：わかりやすく伝えられる。

②ICT 機器を活用することで得られる効果：興味・関心が高まる，学習理解が深まる。

③ICT 機器を活用する上で工夫していることは，何を映すか・どのタイミングで映すかを常に考える。また，ICT 機器を置く位置を工夫する。そして，ネットなどにつながらない時のことも考えて準備する。

### 3) 授業参観による調査について

ICT 機器を活用した授業では，子どもたちの関心が高まり，より理解が深まっている。

## 4. まとめと今後の課題

本研究では，ICT 機器を活用した授業に対して否定的な考えを持っている児童は少なかったが，従来の黒板を支持する者や，これ以上機械化してほしくないといった意見もみられた。しかし ICT 機器を活用することで得られる効果も多く，活用方法の工夫次第で有効な教育手段になると言える。

一方で，ICT 機器を置く位置や導入数，機械系のトラブルは今後改善すべき課題である。

### 引用・参考文献

文部科学省 (2008)：小学校学習指導要領解説 総則編，東洋館出版社，67-69

文部科学省 (2010)：教育の情報化に関する 手引き，1-4 50